

～森林組合だより～

木材市況について

世界的な資源の高騰、急激な円安、ウクライナ紛争等、日本経済を取り巻く環境は先を見通せない状況ですが、道産材のカラマツ材等は旺盛な需要にこれまで支えられてきました。一方で、欧州からの輸入材の増加、燃料高騰や人件費増大、人手不足も大きな影響を与えております。また「ゼロカーボン」「SDGs」「クレジット」「木質バイオマス」等の取り組みなど、森林環境への期待が高まる中、「山づくり」に対する関心も高まっております。この機会に皆様が所有している山林の状況確認等、山林の管理方法、各補助事業等、組合にご相談下さい。令和 4 年 3 月末現在、木質バイオマス発電施設は全国で 443 カ所が認定され、すでに 183 カ所で稼働しております。今後、未利用木材に対する付加価値が高まるなどの期待が寄せられます。

原木・工場着^m

(単位：円)

素材	規格 (長さ)	日付	12～13 cm (直径)	14～18 cm (直径)	20 cm以上 (直径)
カラマツ 素材	2.2～2.4m	令和 4 年 5 月 23 日市況	8,500	10,000	11,500
		令和 4 年 10 月 24 日市況	9,000	10,300	11,500
		対比	500	300	0
	3.65m	令和 4 年 5 月 23 日市況	10,500	13,000	14,400
		令和 4 年 10 月 24 日市況	11,300	13,000	15,500
		対比	800	0	1,100
トドマツ 素材	3.65m	令和 4 年 5 月 23 日市況	10,500	13,000	14,000
		令和 4 年 10 月 24 日市況	11,000	12,000	14,000
		対比	500	▲1,000	0

原木・工場着^m

	日付	カラマツ	トドマツ	広葉樹
パルプ材	令和 4 年 5 月 23 日市況	7,000	7,000	8,700
	令和 4 年 10 月 24 日市況	6,500	6,500	8,500
	対比	▲500	▲500	▲200

上記金額は 1 本当たりではなく^m当たりの単価です。

市町との環境譲与税の協議

11 月 7 日、南空知森林組合と当組合合同で、岩見沢市に対して「環境譲与税」に係る要望を行いました。岩見沢地区は南空知森林組合の山林所有者が隣接する旧栗沢町（現岩見沢市）にも多く、行政間での補助金体系も違うことから、今回、合同での要請となりました。要望書は「路網整備」「森林整備への補助」について、大窪組合長から原農政部長へ手渡されました。要請には空知総合振興局中川課長、同森林室大上野主幹も同席願ひ、現状の課題等の説明がありました。当組合では随時、各市町に要請を行っており、民有林の調査依頼なども受託しており、行政担当者と連携、協力を行いながら、事業推進を進めております。

初代表理事組合長 川西智子氏が北海道功労賞受賞

平成 18 年 1 月に 7 森林組合が広域合併し、誕生した「そらち森林組合」の初代表理事組合長の川西智子氏が、去る 11 月 30 日、京王プラザホテル（札幌市）に於いて、「令和 4 年北海道功労賞」を受賞されました。贈呈式では鈴木直道北海道知事から長年のご功績、ご努力が称えられました。



11 月 30 日 贈呈式後の川西智子氏と鈴木直道知事

川西智子氏の経歴（抜粋）

平成 12 年 3 月	美唄市森林組合代表理事組合長（至 平成 18 年 1 月）
平成 18 年 1 月	そらち森林組合代表理事組合長（至 平成 22 年 2 月）
平成 18 年 4 月	空知地区森林組合振興会会長（至 平成 22 年 2 月）

秋植林終了

10 月 20 日より、伐採後の「地拵え」を終えた山林から、秋植栽（当組合計画 36ha）が進められ、今年は降雪が平年より遅く、順調に造林が行われました。

近年、気候の変化が年々深刻な影響を及ぼし、苗木の活着率が下がってきていることや、ネズミ、鹿による食害も年々増加傾向です。これらの対応に近年「ポット苗」の普及が進んでおります。価格は裸苗より、3 割程度高くなりますが、活着率の向上効果が見込めます。今後、皆様にはご検討を頂きたく考えております。



地拵え中



滝川市分収造林地

植付中

地区別懇談会開催

令和4年度の事業計画に沿って「地区別懇談会」が10月24日～26日まで、当組合管下5会場で開催されました。組合員の高齢化などから、参加人数が年々減少する中、昨年より多い50名の参加がありました。懇談会では、空知総合振興局森林室から「山づくり」について、林業のサイクル、施業方法、施業体系について、当組合からは施業プラン書（皆伐・植林・下刈り）の説明が行われました。

質疑の中では、「熊」の出没が山林施業時に深刻な危険があることや「鹿」による苗木の被害など、その対策を望む意見が多くありました。これらは貴重な意見として理事会で協議し、今後、関係機関や各市町の「鳥獣害対策協議会」への要請を行う予定です。



10月25日 砂川市 地域交流センター「ゆう」

岩田地崎建設株式会社による山林管理

道内大手の総合建設業の「岩田地崎建設株式会社」は創業100年を記念し、去る10月6日、昨年購入した岩見沢市朝日町の所有山林で、役職員及び新入職員40名余が桜の「植樹」を行いました。

旧産炭地の朝日町、美流渡地区地域の活性化に向けて、地域貢献の一環として、取り組みたいと始めた第一歩です。地域住民の朝日町内会と昨年から当組合も交えて協議が行われており、地域の希望である山林整備や桜の植樹、また住宅地近くの危険な老木の伐採などの要請に、当組合と施業業者と協議が進められております。将来的には自分たちの育てた「道産材」での建築技術を確立し、建築物を木造化・木質化するなど、木の利用を通じて、持続可能な社会「ウッド・チェンジ」を目指したいとの考えです。今後、約120haの所有林の整備に、当組合や森林室、地域住民とも意見交換を行い、山林の適正な管理、SDGsの推進、地域の活性化を目指しております。



10月6日 岩見沢市朝日町 当組合の大窪組合長も参加した「植樹祭」

空知地区森林組合振興会研修会

10月3日、芦別市において、空知地区の4森林組合の役職員による合同の視察研修会がありました。会場の芦別（旧カナディアンワールド）で開催された「北海道森林・林業・環境機械展示実演会」では最先端のスマート林業機械の実演をはじめ、「北海道地域で広げる木質バイオマスエネルギー」のセミナーが開催されました。またチェーンソーアートの世界チャンピオンによる作品のオークションもあり、会場は林業関係者で賑わいました。



10月3日 芦別市 三線式タワーハーダーワンダー・ファルコンの実演

庭木などの支障木の処理について

近年、異常気象による大雪、強風や大雨等で地盤が緩み、各地で倒木が発生しております。特に住宅地での倒木があった場合、電線の切断や道路を塞ぐ等の被害が甚大に及ぶこともあります。また、水田、畑の近くの木は、日陰により農作物の成長にも影響が及び、また強風で、小枝などが水田、畑に飛び散るなど、ご自身の所有林の管理には十分留意願います。組合では大きくなりすぎた木や枯木、老木等の伐採業務の相談を行っております。見積りは無料ですのでお気軽にご相談下さい。



名義変更等の届け出について(お願い)

組合員の皆様におかれましては、日頃より組合運営にご協力いただいておりますことに深く感謝申し上げます。皆様には、所有山林の売却、購入、譲渡、相続、住所の変更等がございましたら、当組合に連絡をお願いします。毎年、郵便物が不達となる件数が増えておりますのでご理解願います。

令和6年より「相続登記が義務化」されますことから未登記の山林、相続登記をされていない方はお早めに処理されますことを推奨します。

また、当組合の定款、規約の閲覧は可能ですので、ご希望がございましたら、事前に当組合にご連絡願います。尚、写し(コピー)は実費をご負担願います。